

今回は、特別支援教室「すばる」の4つの事業（①教育相談事業、②個別指導事業、③研修教育事業、④研究開発事業）の中から、「③研修教育事業の実際」について紹介します。

【現職教員（内地留学生）の長期研修】

本教室では、平成17年度より香川県教育委員会派遣の内地留学生（現職の小・中・養護学校の教員）を毎年度2名受け入れ、1年間の研修を行っています。研修では、主に個別指導を通して、子どもの特性や困難の背景にある要因、具体的なアセスメントや指導・支援の方法等について理解を深め、個の特性やニーズに応じた指導・支援のあり方を実践的に学びます。また、文献を読んだり大学教員によるゼミ形式の研修を受けたりしながら、特別支援教育に関する専門的な知識を習得しています。

個別指導を通じた実践的な研修では、特別支援教室スタッフのスーパーバイズのもと、内地留学生がアセスメントの実施、個別の指導計画や個に応じた教材の作成、指導の実施と評価、保護者との面談など個別指導の一連の手続きを実習します。特に深い学びの場となるのは、“事例検討会”です。本教室では、すべてのお子さんの毎回の指導について、事前検討と事後評価を行う事例検討会を実施しています。事例検討会では、指導の進捗状況や子どもの様子などを共有し、指導の改善点を検討したり、指導法や教材のアイデアを出し合ったりします。丁寧な検討と活発な討議によって根拠に基づく効果的な指導方法を探求し、個々の子どもに合った学び方や方略を見つけていきます。内地留学生は、この事例検討会を通して多くの事例や多様な指導法に触れることができるため、知識を深めたり視野を広げたりすることにもつながっています。また、内地留学生だけではなく、スタッフにとっても、事例検討会は貴重な研鑽の場となっています。

毎週楽しみに通って来てくれる子どもたちはもちろん、これから出会う子どもたちの意欲や自信を高めていける指導・支援を行うことができるように、内地留学の先生方は日々の研修に励んでいます。



【香川県下の教員を対象とした研修】

本教室では、現職教員等を対象とした理解・啓発のための研修や、各学校の特別支援教育コーディネーターを対象とした専門的な研修などを実施しています。

11月10日（土）には、香川県教育委員会主催の「特別支援教育・通級指導フォーラム」がすばるで開催され、香川県下の通級指導教室担当の先生や特別支援教育に関わる先生方が参加されました。

フォーラムでは、まず本教室のスタッフより、本教室の概要や通級指導教室における指導・支援のあり方について講話を行いました。その後、施設見学をし、最後に具体的な教材・教具を紹介しながら参加者で情報交換を行いました。指導・支援のあり方や教材・教具、アセスメントの方法など、日常の悩みや工夫等について活発な意見交換がなされました。一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことができるように、日々、指導・支援や研修に励んでおられる先生方との有意義な会となりました。

